

寄贈品コーナー

# よみがえる明治の洋館

## 八幡山の洋館

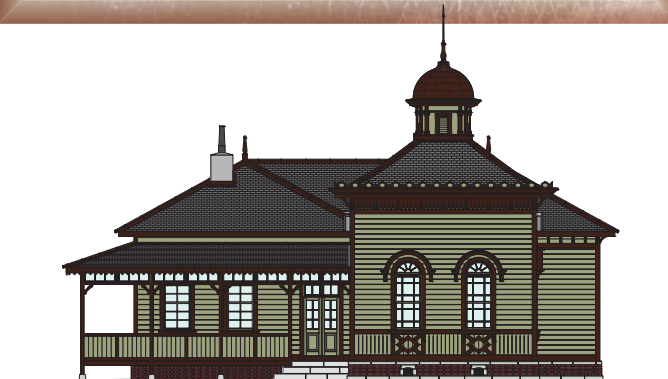
平成28年3月5日(土)～3月30日(水)

協力：社会教育課文化財保護担当

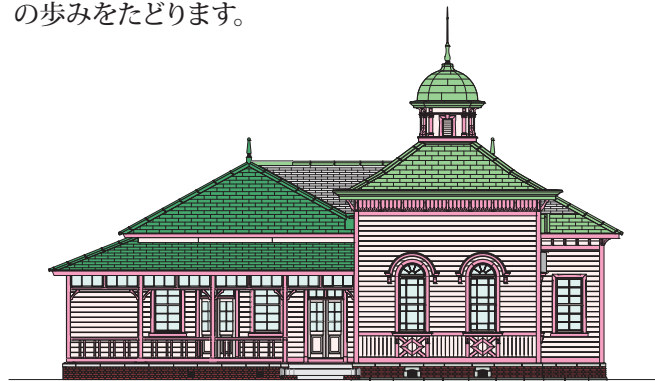
「八幡山の洋館」として親しまれている登録有形文化財「旧横浜ゴム平塚製造所記念館」は、明治時代に創建された洋館として現在も残る数少ない建造物です。

100年以上の歴史を持つこの建物は、関東大震災を乗り越え、改装、改修、補修の手が加えられて今の姿になりましたが、創建当初の色調や構造は少し違っていました。移築復原事業に伴って、平成16年から17年にかけて実施された解体収集工事では、かつての姿を伝える部材が確認され、その後の調査・研究で創建当初の様子やその後の変遷が明らかにされたのです。

今回の展示では、古い時期の部材を公開し明治の建物の歩みをたどります。



創建当初の姿



解体収集工事時点の姿